

行政のコンビニによる障害者雇用

明石市役所における「福祉コンビニ」株式会社セブンイレブン・ジャパン

雇用拡大を通じて 障害者の自立を支える

明石市が障害者の就労支援を目的として、市役所の中にコンビニ「セブンイレブン明石市役所店」を平成19年11月に開設してから5年が経った。田中オーナーは「このスタッフは熱心で、仕事に対して思い入れを持っているから安心して仕事を任せられる。身体の不調がない限り突然休むというようなこともない」と話す。

また、接客態度が良いという評判もあり、セブンイレブン本部へのクレームは皆無だ。市役所の中にあるため、土日祝日が休みであり、利用客の大半が市職員の固定客で「福祉のコンビニ



市役所内のコンビニによる障害者雇用は全国でも珍しい



市内障害者作業所等の授産品販売

二と認識されているなど、スタッフが働きやすい環境が整っている。

仕事に対する意識も高いことから、開設当初より働くスタッフ一人は、今ではオーナー不在時の責任者として店を任されているほどだ。レジ・発注・検品・棚卸等の基本的な業務はもちろん、発注からディスプレイ、ポップ広告の作成まですべて行い、扱いが難しい新商品の発注も行っている。

「病気を理由に逃げてはダメ！」

明石市役所店では、通常の商品に加え、市バス回数券や粗大ごみチケット、明石天文科学館のチケットの販売のほか、市職員の名刺の受注や、市内障害者作業所等での授産品販売なども行っており、他店よりも取り扱う商品が多い。だが、スタッフは昼のピーク時もテキパキと仕事をこなしている。

開設当初から働き、リーダーとして皆をまとめているスタッフは、「初めの頃は本当に大変だった。初めてレジに立った時は足がガクガクして、絶対間違っただけいけないものすごく緊張していた。ピーク時の12時が嫌になるくらい



お昼のピーク時にはお客が列を作ってレジを待つ



次々とレジをこなすスタッフ

だったが、もう大丈夫。ここまでできるようにするには思いもよらなかった。今はみんなで話し合いながら仕事を進めている。病気を理由に逃げたらあかん、この仕事にゴールはない」と意気込みを語ってくれた。

現在、国では企業による障害者の雇用促進についての議論が継続して行われている。企業と市役所の連携による、先駆的な「福祉コンビニ」の取り組みに注目が集まる。

株式会社セブンイレブン・ジャパン 明石市役所店
 オーナー 田中正洋
 所在地 兵庫県明石市中崎1丁目5-1
 明石市役所本庁舎2階ロビー北側
 営業時間 8時～18時
 TEL 078(914)6226